

■ 図書館総合展フォーラム講演会 (主催: 社会福祉法人 埼玉福祉会) 2007年11月8日(木)

パシフィコ横浜フォーラム第3会場: 10:30~12:00 (90分)

【講演】

図書館グッズが利用者と館員を変える！ — イメージ戦略の先進事例 —

講師: 仁上幸治 (早稲田大学図書館 / 図書館サービス計画研究所代表)



■ 概要

図書館グッズで、めざせ ALA! がんばれ JLA!

アメリカ図書館協会 (ALA) のグッズカタログには、ハリウッドスターやプロスポーツ選手、歌手、実業家など各界の超有名人が登場する魅力的なポスターやしおりが満載だ。他にTシャツ、キャップ、バッグ、マグカップ、マウスパッドなどもあって見るだけで楽しくなる。図書館グッズは、利用者の図書館イメージを向上させ、図書館員を元気にする絶大な効果を持っている。毎年、対象者別、館種別に高品質な新作が続々と制作販売されるようになれば、協会の財政的基盤が強化され、マスコミで話題になって図書館界全体の社会的認知度も上がり、各館の利用促進にも貢献する。なぜ日本では図書館グッズの開発・普及の体制を作ることができないのか。過去の私大図協や日図協での共同制作ポスターなどの実例を紹介しながら、ALAグッズの輸入販売、関連業者への販売委託、グッズ共同開発の事業化などの実現に向けて、上部団体へ5つの提言を試みる。日米の図書館グッズの大量展示即売にもどうぞ期待!

詳細: 社会福祉法人 埼玉福祉会 <http://www.saifuku.com>

- 資料 1 : アメリカ図書館協会
- 資料 2 : 日本図書館協会
- 資料 3 : 図書館利用教育委員会から事務局長への提案
- 資料 4 : 参考文献・参考サイト
- 資料 5 : 参考サイト一覧
- 資料 6 : 講師紹介

別紙

- ◎ 見本 1 : 日本図書館協会図書館利用教育委員会
- ◎ 見本 2 : 私立大学図書館協会企画広報研究分科会
- ◎ 見本 3 : 和歌山医科大学図書館
- ◎ 見本 4 : 紀伊國屋書店『情報の達人』パンフレット

■目次

【1】世界の先進事例

【2】日本の図書館グッズ

【3】公共・商業ポスターの事例

【4】私立大学図書館協会企画広報研究分科会の共同制作

【5】日本図書館協会の成果

【6】図書館関連業界との共同企画

【7】日本図書館協会への5つの提言

* 質疑応答

* 主催者から

* おみやげ

* アンケート

■資料 1 : アメリカ図書館協会 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

アメリカ図書館協会の図書館グッズ事業

●常務理事会資料 A1 2001.12.25, p.1.
II.ALA のキャンペーン計画 @your library(TM)ー5
年継続の計画ー

アメリカ図書館協会
会員 6 万人
歳入 4000 万ドル(48 億円)
2001 年度
うち
会費:17%(9 億円)
出版:38%(19 億円)
図書館グッズ:4% 170 万ドル(2 億円)

目的
1.利用者和社会全体に対し、図書館のイメージや存在価値の認識を高めて、理解の増進と経費の増額を図る
2.このロゴを使って、各地、各種の図書館に共通の印象を強める
3.図書館界内部でも、各種の図書館に共通の考え方を広げ、全体の発展を図る

2002 年標語コンテスト
・ALA と Grolier 社主催
・一等賞金 4000ドル
・「@your library」の前に置くメッセージ

標語メッセージの条件
1.社会の中で、図書館の存在がどれほど重要なのか、独自の働きを持つか
2.図書館を使うとともに、図書館員の援助を求めよう、図書館員は利用者の要求に十分応え得る存在なのだから
3.外部に対してとともに、図書館界内部の振興にも適切であるように考える

標語の実例
(略)

ALA の姿勢
1.マーケティングの専門家と共に、5年間のPR計画を立案
2.進め方
3.基本メッセージの作成とターゲットグループとの意見交換

■資料 2 : 日本図書館協会 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

日本図書館協会
会員 6 千人

会館建設
1999 年 等価交換
借入:5.5 億円
12 年ローン(2011 年まで)元利均等払

返済:年 4500 万円

事業収入 10 億円
うち人件費 3 億円

もし図書館グッズを売れば
歳入比率 4%として、

×10 億円＝年 4000 万円
×粗利 50%＝年 2000 万円

Tシャツ換算： @2000 円×2 万枚！

●『21 世紀における日本図書館協会のあり方検討
会報告』2001.1.11,p.17.

3.協会事業-(2)収益事業

会員満足と図書館の社会的認知の向上

- ・協会ブランドの活用
- ・他の団体・企業との連携
- ・外国の図書館協会などとの連携

魅力的な企画づくり

- ・マーケティングやプロモーションの専門家の助言

★図書館グッズについて提案なし！

日本図書館協会のグッズ事業

●常務理事会資料 A1 2002.1.8, p.1.

2002 年事業計画(素案)

p.4

7.日本図書館協会の財政強化のための事業
(担当:事務局・新事業検討小委員会)

- ・会員増の努力
- ・会費の身直し
- ・既存事業の見直し(不採算事業の立て直しまたは廃止)
- ・新規事業の検討
- ・義務的経費の削減(特に事務局の人件費)
- ・会員配付資料の再検討

新規事業の検討

- ・国会図書館新複写サービスの受託
- ・J-BISC の DVD 版の刊行
- ・協会グッズの作成・販売

8.創立 110 周年記念事業

日本図書館協会への5つの提言

- 1.広報委員会の設置
- 2.PR 戦略の策定
- 3.全国図書館大会の企画一新
- 4.専門職のイメージ革新
- 5.図書館グッズの開発普及

■資料 3： 図書館利用教育委員会から事務局長への提案 □□□□□□

●事務局長へ提案 1999.2.25、再提案 4.19、再々提案 2001.5.10 (1999.2.25 付文書 3 点)

(文書1)「全国図書館大会におけるポスター等の展示・配布・販売の改善について-会場の楽しい雰囲気づくりとグッズの販売促進をめざして-(提案)」

(文書2)「全国図書館大会におけるマスコミへのパブリシティの改善について-地元での話題づくりと全国的な図書館アピールを目指して-(提案)」

(文書3)「広報グッズ・利用教育ツールの開発・普及体制の整備について-ALA マーケティング部の活発な活動に倣って-(提案)」

●文書1 =====

1999(平 11)年2月25日

全国図書館大会におけるポスター等の展示・配布・販売の改善について
——会場の楽しい雰囲気づくりとグッズの販売促進をめざして—— (提案)

図書館利用教育委員会

【1】現状

今年度から日図協の頒布ポスター(コニーちゃん)の2種類が、従来の地元製大会ポスターとは別に、大会告知版として制作され、当日の会場周辺に掲示されるようになった。内容は、日本図書館協会から大会参加者に向けての大会と展示の案内となっている。日図協の書籍展示販売の会場で無料配布された。

【2】問題点

展示ブースの配置の問題： 日図協ポスター等の展示ブースが大会会場の隣のビルの、しかも各社展示会場のさらに奥であったため、多くの参加者の目に触れる機会が少なかった。

展示即売の禁止： 展示ブースでは販売が許可されておらず、その場で購入して帰りたい来訪者が購入できなかった。

見本無料配布の問題： 書籍販売コーナーで、98年版コニーちゃんポスター大会版の無料配布が行われていたが、販売促進のための宣伝の一環という意図が伝わりにくかった。

【3】改善案

1)日図協のブースを書籍やグッズの「展示即売」のためのものという位置付けにする。

日図協のブースの位置を、参加者が必ず通過する大会受付の近辺に置く。

日図協のブースでは、参加者向けに毎回テーマ性を持たせた《展示》で大会の楽しさを演出する。例：JLA/ALAグッズ展、世界の図書館ポスター展、リーディングネスト展など。

日図協のブースでは、日図協の出版物だけでなく、多様な図書館グッズのラインナップを即売する。ALAグッズカタログ自体を有料でも欲しいと言う人も多い。

例：JLA のしおり、ポスター等のほか、ALAで通販しているしおり、ポスターや図書館用グッズを輸入して販売する。

ブースには、販売要員と展示説明要員を配置する。ALAグッズはすべて英語のため何のために使うものかわからない人もいるので、解説があるとより多くの人に興味を持ってもらえる。

より効果的な即売の方法を工夫する。

例：販売品目は、実際に図書館で使用するもの、大会参加のお土産にするもの、など用途に応じ、購入しやすい安価な葉セット等を用意する。

期待される効果参加者に対して大会の「楽しさ」を印象づけ、取材のマスコミを通じて全国的な図書館のイメージアップになる。

大会のグッズ類の売上げ向上に大きく貢献でき、以後のJLAポスター等の販売促進に繋がる。

参加者が手ごろな“おみやげ”として購入し自館へ持ち帰ることで全国的な話題づくりになる。

本件担当委員：仁上幸治(早稲田大学)

=====

●文書2 =====

1999(平 11)年2月25日

広報グッズ・利用教育ツールの開発・普及体制の整備について
——ALAマーケティング部の活発な活動に倣って—— (提案)

図書館利用教育委員会

はじめに

ALAにはマーケティング部という専属の部署があるが、JLAには対応すべき部署がない。共通グッズやツールの企画制作販売を効果的に推進するには、担当する責任部署・担当者と、その下に企画を練り、対外交渉を行い、製品を完成させ、それらを全国の図書館に普及させる“実務部隊”が必要になってきているのではないだろうか。

一度にALAのような活動をはじめることには無理だが、例えば10年計画でJLAのツール・グッズ開発を着実に前進させる方策を提案したい。この件については、既に昨年 12 月に、理事長から口頭で内諾をいただいている。

【1】提案

広報グッズ等企画開発の体制を確立する。

例:事務局部長級の責任者と協力者によるワーキンググループの設置、等。

現在のポスター、しおり等に加え、Tシャツ、キャップ、バック、マグカップ等の開発・販売を徐々に拡大していく。(ALAカタログを参照)

通販の媒体を整備する。

例:『図書館雑誌』のポスター・葉のカラー宣伝ページに加え、「JLA通販カタログ」冊子の無料配布等。

販売ルートを確立する。

例:専属の物流業者の確保、図書館関連業者への販売委託、など

【2】グッズ販売によって期待される効果

毎年、新作が確実に企画・制作・販売できるようになる。

全国の図書館で期待感を持って新作が待望されるようになる。

JLAの財政的基盤が大きく強化される。

JLAの、ひいては図書館全体の社会的認知度が向上する。

有名な俳優・歌手・実業家などのボランティア協力や有名なキャラクターの使用許可が得やすくなる。

通販カタログの配布が可能になる。

好循環の拡大再生産が可能になる。

以上

=====

●文書3 =====

1999(平11)年2月25日

全国図書館大会におけるマスコミへのパブリシティの改善について
——地元での話題づくりと全国的な図書館アピールをめざして—— (提案)

図書館利用教育委員会

【1】現状

98年度は日図協の頒布グッズはフジテレビの人気キャラクターである“コニーちゃん”を起用することに成功し2種類のポスター、本の葉、掲示用紙が全国に普及することになった。全国図書館大会(秋田)でも、従来の地元製大会ポスターとは別に、大会告知版として制作され、当日の会場周辺に掲示されるようになった。内容は、日本図書館協会から大会参加者に向けての大会と展示の案内となっている。日図協の書籍展示販売の会場では無料配布された。

【2】問題点

せっかくの全国的人気キャラクターが、地元での事前の話題づくりに活かされていない。硬いイメージの図書館界が、あの軟らかいイメージのフジテレビと提携したことは、全国的なニュースとしても話題性があるはずだが、十分に宣伝されていない。

【3】改善案

地元の実行委員会からマスコミ・ミニコミ関係者に対して、図書館大会についての話題提供を行う。

例:資料のプレスリリース、ポスター掲示依頼、葉セット等の進呈。

マスコミへのパブリシティを大々的に行う。

例:フジテレビの番組「ポンキッキーズ」で図書館グッズを使用・着用してもらう。ニュース番組で図書館大会を取り上げてもらう。

協会事務局と大会実行委員会で社会的話題づくりを担当する体制を作る。

例:事務局部長級の責任者と協力者によるワーキンググループの設置等。

【4】期待される効果

全国的な話題となりうる強力なキャラクターを効果的に活用することによって、大会そのもの、ひいてはJLAを世間に広く印象づけることができる。全国的な番組に取り上げられることも、取り組み方によっては多に可能性がある。

全国的な話題がマスコミに流れることによって逆に地元での大会の話題が増幅される。

図書館大会が、全国的にメジャーなイベントであることが多方面に印象づけられ、図書館界関係者・関係組織のみならず、広く賛同・協力が得られる可能性が広がる。

以上

=====

■資料6： 講師紹介（最近の活動から） □□□□□□□□□□□□□□□□□□

仁上幸治（にかみ・こうじ）：早稲田大学図書館司書／東京家政大学・桜美林大学・亜細亜大学司書講習非常勤講師

◎図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)代表：<http://tosaken.blogspot.com/>

◎ホームページ：<http://www.dens.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/> ◎電子メール：nikamikoji@yahoo.co.jp

◎論文・記事（単著）

- ・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを！ー市民の情報リテラシーと社会教育ー」『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.
- ・「図書館マーケティングとプランニング・プロセス論ー経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入ー」『専門図書館』no.192, 2001.3, pp.8-18.
- ・「軽いノリと少しの勇氣ー利用者満足度調査は自信と希望の証ー」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52. (同誌ホームページ掲載)
- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札ー情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告ー」『法政大学教職資格課程年報』（法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊）vol.1、2003年度、2004.3.30, pp.66-76.
- ・「これは危機ではない？ー困った利用者よりずっと困った問題群ー」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革ー専門職崩壊のデフレスパイラルー」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会) pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ！ー素敵な印象を伝えるプレゼンテーションをー」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法ー印象づけを重視した構成・演出の改善の試みー」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集：情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略ー司書職の専門性をどう訴求するかー」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, (特集：図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) pp.310-317.
- ・「電子パスファインダをどう作るかー情報探索支援ツールの企画から公開までー」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.
- ・「『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.

◎単行書（共著）

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開を目指してー』日本図書館協会発売、2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房、2002.10 (新図書館学シリーズ第8巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック (大学図書館版)』日本図書館協会、2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古 (共編著)『専門資料論』日本図書館協会、2005.6 (菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著) (JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8)

◎講演・発表等

2007

- ・2007.03.31-[学会発表] 日本図書館情報学会春季研究集会「図書館利用者プロフィールの再検討ー情報探索支援システム設計のための概念モデル」大阪市立大学梅田サテライト
- ・2007.06.01-[講演] 専門図書館協議会全国研究集会「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイント」科学未来館

- ・2007.07.10-[講習会] 私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会図書館広報実践講座パート 1「パスファインダーをつくる!」国立情報学研究所
- ・2007.08.24-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会研究会「情報リテラシー教材が図書館を変えるー『情報の達人』が切り拓いたものー」熊本学園大学
- ・2007.09.21-[講演] 岐阜県図書館・岐阜大学図書館講習会「パスファインダーを作る(入門編)」岐阜県図書館研修室
- ・2007.10.18-[講演] 専門図書館協議会関西地区協議会イブニングセミナー「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」大阪商工会議所
- ・2007.11.08-[講演] 図書館総合展フォーラム講演会「図書館グッズが利用者と館員を変える!ーイメージ戦略の先進事例ー」(埼玉福祉会主催), パシフィコ横浜: 10:30~12:00 第3会場
- ・2007.11.08-[講演] 図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)ーデータベースの特徴をどう紹介するかー」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜 15:30-17:00 第5会場

★著作と講演のリスト (一部は論文全文掲載) や関連資料はホームページ参照。

■講演予定 (一部未定)

- ・ 2007. 11. 21-[講演] 大学図書館近畿イニシアティブ中級研修「大学図書館における広報戦略と情報発信ーホームページ、広報誌、利用案内・・・あなたの図書館は大丈夫ですか?ー」大阪市立大学学術情報総合センター
- ・ 2007. 12. 04-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースの活用をどう促進するかー『情報の達人』による授業の効果ー」(仮題), 名古屋キャッスルプラザ
- ・
- ・ 2008. 03. 16-[講演] 日本図書館協会図書館利用教育実践セミナー(11)「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)ーデータベースの特徴をどう説明するかー」(仮題)、キャンパスプラザ京都

■企画案(講演・講義・ワークショップなど)

- ・ 初級編 (再演)
- ・ 中級編 (再演)
- ・ 上級編 (新規)
- ・ 図書館グッズ新作発表記念シンポジウム(?)

(*^^)v

以上□■□ (配付資料/200711.6 作成)

図書館グッズで、めざせ ALA! がんばれ JLA!

【参加者アンケート集計結果報告書】

図書館グッズが利用者と館員を変える!

—イメージ戦略の先進事例—

社会福祉法人 **埼玉福祉会**

【1】概要

●図書館総合展フォーラム講演会 2007 年度:2007 年 11 月 8 日(木)10:30~12:00/パシフィコ横浜 第3会場

主催:埼玉福祉会主催 <http://www.saifuku.com>

講演:「図書館グッズが利用者と館員を変える!—イメージ戦略の先進事例—」

講師:仁上幸治氏(早稲田大学図書館)

- 1.申込者数:142名(メール・FAX)
- 2.参加者名簿チェック数:129名
- 3.当日参加者:21名(名簿記入・名刺)
- 4.計 150名
- 5.アンケート回答者 121名(回収率80%): **満足度 4.31 (5点満点)**

【2】内容

アメリカ図書館協会(ALA)のグッズカタログには、ハリウッドスターやプロスポーツ選手、歌手、実業家など各界の超有名人が登場する魅力的なポスターやしおりが満載だ。他にTシャツ、キャップ、バッグ、マグカップ、マウスパッドなどもあって見るだけで楽しくなる。図書館グッズは、利用者の図書館イメージを向上させ、図書館員を元気にする絶大な効果を持っている。毎年、対象者別、館種別に高品質な新作が続々と制作販売されるようになれば、協会の財政的基盤が強化され、マスコミで話題になって図書館界全体の社会的認知度も上がり、各館の利用促進にも貢献する。なぜ日本では図書館グッズの開発・普及の体制を作ることができないのか。過去の私大図協や日図協での共同制作ポスターなどの事例を紹介しながら、ALAグッズの輸入販売、関連業者への販売委託、グッズ共同開発の事業化などの実現に向けて、上部団体へ5つの提言を試みる。日米の図書館グッズの大量展示即売にも乞うご期待!

【3】公共・商業ポスターの事例

【4】私立大学図書館協会企画広報研究分科会の共同制作

【5】日本図書館協会の成果

【6】図書館関連業界との共同企画

【7】日本図書館協会への5つの提言

- 資料1: アメリカ図書館協会
- 資料2: 日本図書館協会
- 資料3: 図書館利用教育委員会から事務局長への提案
- 資料4: 参考文献・参考サイト
- 資料5: 参考サイト一覧
- 資料6: 講師紹介

別紙

- ◎見本1: 日本図書館協会図書館利用教育委員会
- ◎見本2: 私立大学図書館協会企画広報研究分科会
- ◎見本3: 和歌山医科大学図書館
- ◎見本4: 紀伊國屋書店『情報の達人』パンフレット

【1】世界の先進事例

【2】日本の図書館グッズ

【3】結果

表1. 参加者データ

	1	2	3	4	5
Q1.職業	63	3	2	9	2
Q2.館種	14	25	23	5	0
Q3.雇用区分	44	7	3	2	10
Q4.経験年数	7	19	12	17	11

図1. 参加者データ

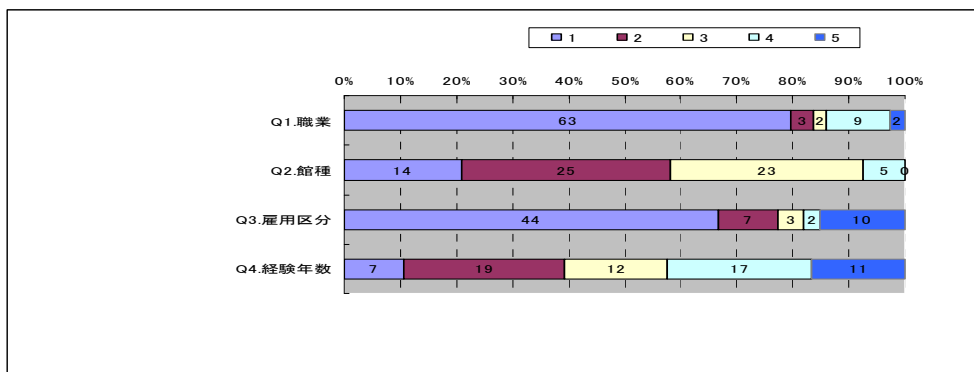
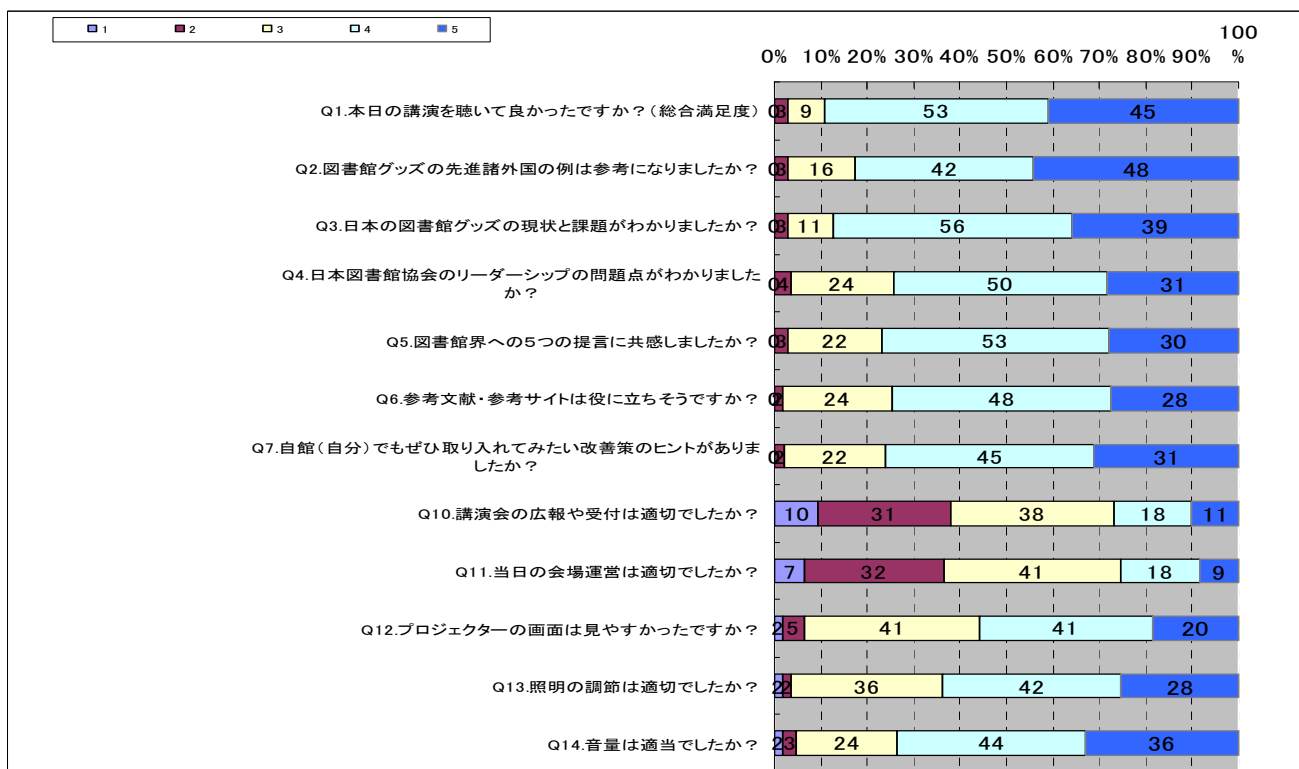


表1. 設問別評価結果表

	1	2	3	4	5	平均値
Q1.本日の講演を聴いて良かったですか？	0	3	9	53	45	4.31
Q2.『情報の達人』の歴史的な経過がわかりましたか？	0	3	16	42	48	4.28
Q3.『情報の達人』の内容と構成がわかりましたか？	0	3	11	56	39	4.23
Q4.『情報の達人』が目指すものがわかりましたか？	0	4	24	50	31	4.02
Q5.図書館界への提言に共感しましたか？	0	3	22	53	30	4.03
Q6.参考文献・参考サイトは役に立ちそうですか？	0	2	24	48	28	3.98
Q7.自館(自分)でもぜひ取り入れてみたい改善策のヒントがありましたか？	0	2	22	45	31	4.05
Q10.映像・画像の使い方は適切でしたか？	10	31	38	18	11	2.89
Q11.スライドショーは見やすくわかりやすかったですか？	7	32	41	18	9	2.93
Q12.画面は見やすかったですか？	2	5	41	41	20	3.64
Q13.照明の調節は適切でしたか？	2	2	36	42	28	3.87
Q14.音量は適切でしたか？	2	3	24	44	36	4.03

図2. 設問別評価結果グラフ



【3】記述式

Q1-2.印象をひとことで ++++++

5 点

- ・「ライブ」とおっしゃったとおり、スライドと併にお話にも聞き入ってしまいました。
- ・明るく楽しくためになる！雰囲気サイコー！でした。ありがとうございました♪
- ・旭川動物園の導入に興味をもたされ最後まで続き良かったです。図書館の広報は大切だとあらためて感じさせられました。
- ・旭山動物園の紹介からの導入など興味を引く内容でした
- ・今、ちょうど図書館の広報活動に力を入れています。実践していることの意味、等も含め共感を得ることができました。これからも力を入れていきたいと思いました。
- ・イメージ戦略と図書館PRのヒントがつかめた。
- ・インパクト！
- ・おもしろかった！
- ・講師の方のお話にひきこまれ、あつという間でした。
- ・広報＝お知らせではなく広報＝PR
- ・時間が押したのが残念！日頃思っていたことがすっきり理由付けされていて大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・自館の利用指導が余り良いと思えず改善したいと思っていたので、大学のオリエンテーションの様子が大変参考になりました。伺うことができ良かったです。
- ・たいへん面白かったです。テンポもよく、言葉も聞き易く、話の流れも自然で良かったと思います。
- ・たくさん枚数だったが、ご説明と合わせてとても興味深く見ることができました。太田光のところが一番におもしろかったです。
- ・楽しかったです。周りを変えるには自分が変わらなくてはと思いました。
- ・楽しく図書館のことが分かりました
- ・導入部も良く、ジョークもまじえながら楽しく、非常に論旨のはっきりとしたわかりやすいお話でした。
- ・とてもおもしろかった。もっとお話が聞きたかったです。
- ・とても楽しかった。時間の過ぎるのが早くもっと講演を聞きたいと思うおもしろい内容でした。
- ・とてもよかった。イメージ戦略、大事ですね。
- ・仁上氏の熱意にはげまされました。図書館を変えよう！と。
- ・仁上氏の論文はだいたい全部読んでいるので、その流れに沿った話で良かった。
- ・仁上先生のセンスが良い
- ・日本と米英との差異がよく分かった。(日本は大変遅れている。)日本の図書館業界、協会の現状がよく理解できた。
- ・まさにライブ。眠くならない
- ・まず講演自体がとてもおもしろかったです。そしてグッズを用いたイメージ戦略、印象づけの重要性が認識できました。学校図書館に昨年までおり、ガイドラインの存在も知っていたがグッズの観点というのが新しかった。
- ・未知の世界の話であったが非常に理解が深まった
- ・分かりやすくて良かった。

4 点

- ・「広報＝PR」は大事と思いました。ポスターはパッと見が命！たいへん楽しく拝聴させていただきました。
- ・Positive thinking ですな
- ・PR 活動の大切さを実感しました。ありがとうございます。
- ・Speaker の日本図書館協会への印象・持論がはっきりと表れて

いて興味深かった。

- ・あつというまの1時間半でした
- ・あわただしい
- ・委託、公共図書館ということで仲々難しいことではありますが意識は持っていたと思います。
- ・インパクトがあった。
- ・映像で見れて良かったが、説明が少し早かった
- ・面白い！特に「つかみ」が大事だということがとてもよく分かりました。
- ・おもしろかった
- ・おもしろかった
- ・面白かった
- ・おもしろかった！
- ・おもしろかったです。
- ・面白かったです。ありがとうございました。何とか、活性化したいという点に共感しました。
- ・グッズについては知らないことが多かったので参考になりました。
- ・グッズの重要性
- ・様々なグッズの具体例を見せていただき図書館のPRについて非常に印象を新たにさせていただきました
- ・写真をスライドでたくさん見せていただき非常にわかりやすく刺激をうけた。
- ・視野を広げることに限界をきめない
- ・スライド写真が多くあきなかった
- ・大変面白い内容でした。
- ・楽しかった！(時間が足りなかったのが残念)
- ・楽しかったです。
- ・図書館のイメージを変えることは重要だと思った。
- ・内容が豊富で参考になる点が多かった。講演者が提供しようとする情報量に対し、時間が短くて残念。
- ・内容は新鮮に受け止める事ができ、参考になりました。
- ・仁上さんの発想力よかった
- ・話しにぐいぐいひきこまれました。できることからやっていたと思います。
- ・話を聴くだけでは印象に残りにくいのでスライドショーはわかりやすかったと思います。
- ・プレゼンが上手い。
- ・ポジティブ
- ・もう少しゆっくりとスライドを見たかった。声を大きく
- ・もっとじっくりおききたかった。
- ・分かりやすかった
- ・分かりやすかった

3 点

- ・時間がおしていかけてしまったので、もう少し講師の方の話しをゆっくり聞きたかった。ALAの例はとても参考になりました。
- ・スライド多すぎ

2 点

- ・プロジェクターの画面の展開が早かったのでめまぐるしかったです。

1 点: なし

Q7-2.改善のヒント ++++++

- ・PR戦略の方法論、PR戦略を行うまでのフローをしっかりとやっていきたいと思った。
- ・SW EP II の図(図書館)のシーン
- ・イメージを確定してゆくことの効力
- ・インパクトを持たせる。
- ・オリエンテーションのつかみ
- ・オリエンテーションのやり方
- ・オリエンのつかみ
- ・キャラクターの設置
- ・グッズ、ポスター、しおり等の作成、広報の方法
- ・グッズもてがかりのひとつという点
- ・グッズを積極的にとり入れる
- ・しおり
- ・しおり、ポスター、掲示物には参考にしたい
- ・しおり、図書館案内のパンフ。帰ったら利用者を取りこめるようなものを作ってみます。
- ・しおりで図書館のPR
- ・しおりなど。
- ・しおりの活用方法について色々と参康になりそうな意見をいただきました
- ・しおりの製作などできることからやってみたい
- ・しおりを学生にデザインしてもらう
- ・しおりを早速検討してみたい
- ・チラシ、ポスターを作る時に、一方的にならないよう気を付けた
- ・としょかんのログマーク(IC タグ用)
- ・ブックカバーやしおりなど、面白いと思いました。
- ・ポスター、自館作成のしおり等
- ・ポスターのデザイン
- ・ポスター作成時などの PR について、その手順や、やり方等を再考すべきと感じました。
- ・マーケティングの専門家の導入
- ・マーケティングやプロモーションの専門家を入れて企画立案するところ
- ・マスコミにとりあげられる図書館は大事ですね。記事提供、情報の発信はどンドンしていかないと！→公共の図書館には色々制限があり、おもいついてもダメが多くてさみしいかぎりです。
- ・ワーキンググループのメンバー内で行っていますが、個人的に好きな(ポスター作成などのデザイン)人がいればコンペも有だなと思いました。
- ・具体的なことではなく、広報＝お知らせではなく、＝PRというところに非常に共感した
- ・掲示等に統一ロゴを入れてみようかと思います
- ・個人的に、＜プレゼンの仕方＞と、色々なアイデア
- ・広報＝PR、利用者増を目指したい
- ・広報→PRという発想 知らせるだけに (不明)
- ・広報グッズ、付帯事業に関するヒントがあった。
- ・広報はお知らせではないということ
- ・広報を一方的にしないこと
- ・志をとおす
- ・人の心を引きつけるノウハウ。
- ・図書館という「しおり」が多いとは思いますが、もっと他のものでもいいのではと思う
- ・大学図書館にいるので学生とのコラボもおもしろそう
- ・短大図書館なので、学生の写真を使ったオリジナルポスターしおりを作ります
- ・展示の方法を変えていけるかもしれないと思いました。ポスターでのインパクトは改善につながると思います。
- ・同上、現在図書館内で展示ポスターを作成する係なので、PRやアピールの点で見習うべき視点等、自覚し直せました。
- ・未利用者をひきつけるための広報、という点
- ・利用者を楽しませるという考え方。
- ・和歌山医大のシルエット しおり

Q8.もっと聞きたかった点 ++++++

- ・ALAグッズの計画
- ・PRが一方通行でないのなら、広報を享受する側のフィードバックはどうか
- ・イメージを決める具体的手法。何を基に？など
- ・インパクトを与える素材を使う費用は多額なのでは？
- ・グッズから実際の利用者がどういう反応をしているか、を聞きたかった。
- ・グッズの事例について、もっと聞きたかった。広報戦略などの話が少し長かった。
- ・グッズを作るに予算必要ですがそれをどうやってもぎとるか。
- ・コスト、価格、期間(企画提案～完成、頒布まで)
- ・スライドをゆっくり全部見たかった
- ・つづきの話
- ・もちろん、最後に飛ばさざるをえなかった、見なかった部分です。
- ・ユーザーの反応。
- ・各図書館の事例
- ・各図書館レベルでの制作事例
- ・学生が(大学なので)本当に求めているグッズはどのようなものか、しおりは一般的すぎませんか？過去に作ったことがあります
- ・具体例
- ・個々の図書館の具体的事例とその効果
- ・国立大学における事例や問題点などにもふれていただきたかった。
- ・最後の方、省略されたところ「なんかの10の病」気になります。
- ・作成事例 予算のねん出など。成功事例、導入効果の具体的な例
- ・時間が足りなくて、残念でした。もう少しゆくりお話を聞きたかったです。
- ・時間切れが残念。つづきが聞きたかったです。
- ・実際に自館でPRしていく方法論
- ・収益事業との関わりと展開
- ・詳しくというより、少し早足だったので。
- ・上司、会計担当者にかけるのに費用対効果の点で何かレポート等がありましたらご教示下さい。
- ・図書館の目的、リーダーシップの条件
- ・図書館員の10大病
- ・図書館グッズの収益をよりうまく活用する方法を知りたかったです。
- ・図書館界への5つの提言の部分
- ・図書館全体での活性化ではなく、公共図書館の一分館内で即実行に移すことのできる、アイデアを得られたら・・・と感じました。
- ・先進的事例をもっとくわしくききたかった。
- ・専門職のイメージ革新、図書館のイメージが良くなったとしてその後どうなるのか？
- ・全て、もう少しじっくり聞きたかったです。
- ・全体的にもう少しじっくりお聞きしたかったです(特に5つの提言について)

- ・全体的に時間があればもう少しゆっくり聞いてみたかったです。
- ・他の図書館のグッズについて
- ・太田大臣の例のようなもの。他にも例をもっと見てみたかった。
- ・大学関係者なので早稲田大学の例についてお伺いしたかったです
- ・途中で尻切れになった為結論が分からず残念です。
- ・日本とアメリカの経済状況、法制度の違いがあるのでそのまま

- アメリカのやり方で成功するかどうか分からないが、大変に参考になった。
- ・有名なアーティストとのコラボについて
- ・有名人の人へのアポイントメントのとり方。小さなところではムズカシイですもん。
- ・予算、人手がなくてもできることは何か
- ・利用者へのPRの仕方をもっと具体的に聞きたかった。

Q9.来年までにあなたがぜひほしい図書館グッズは何ですか？ ++++++

- ・ALAのポスター。その他いろいろ。帰りにブースで購入してゆきます
- ・本貸出時のバッグ(布製)。もちあるくグッズ
- ・A4サイズのノート
- ・イラスト
- ・うちわとひざかけ。持ち帰るのではなく館内で使うグッズに注目している。
- ・エコバッグ
- ・エコロジーをうたうもの
- ・エプロンとかいいなと思いました。広報用ですが。
- ・しおり
- ・しおり(ブックマーク)
- ・しおり、ポスターなど作成したい。
- ・しおり「READ」のポスター
- ・しおりを考えています。
- ・ストラップ
- ・てぬぐい、ふせん
- ・トートバッグ、Tシャツ、ピンバッジ
- ・バッグ
- ・バッグ
- ・バッグ
- ・ビニールバッグ
- ・ビニールバッグ
- ・ビニールバッグ 是非
- ・ビニールバッグは資料保存の観点からも必要なものだと思う
- ・ブックカバー
- ・ブックカバー
- ・ブックカバー
- ・ブックカバー
- ・ブックカバー
- ・ブックカバー: 図書館の本は大きいものが多いのでサイズがフレキシブルなものがあると使ってくれるのではないかと。
- ・ブックカバーなど
- ・ボールペン、バッグ

- ・ポストイット←学生がよく使っている。ペタペタはって、いつも図書館のことを身近に感じてもらえる！かも 安くできそう
- ・マウスパッド、カウンターまわりにおけるような実用品
- ・マスコットキャラクター
- ・メガネケース(笑)
- ・よく見ないと図書館グッズとはわからないようなクールなもの。バックとか。デザインがシンプルなもの。
- ・わからない
- ・館内で資料を持ち運ぶためのバッグやかごのようなもの。
- ・携帯ストラップ
- ・現在クリアファイル検討中
- ・使って頂くことで広告塔となり、更に、図書館資料を大切に扱って頂けるバッグ。
- ・私大図協のしおりは館に持ちかえり、検討したいと思います。
- ・紹介にあったビニールバッグ良かったです。低価格で利用者にも気軽に渡せるスーパーの袋のようなものがあると良いと思います。
- ・職員用エプロン、ペン、メモ(フセシ)
- ・図書館がもっている知的で上品(?)というイメージを生かし、そのうちペンダントやピンバッジのようなおしゃれで持っているとかっこいいようなものがあるといい。(県立図書館や大学図書館のゆな雰囲気のところ)
- ・図書館ビニールバッグ
- ・当面は、市販のグッズで、将来はオリジナルグッズも考えたい。
- ・特になし。すでに自館で色々作っている。ただ、今回見ると、アニメ的なもの、かわいらしいものが多い気がする。大人、男性が持てるようなデザイン的なものがほしい
- ・文房具など、実用的でさりげないPRになるもの
- ・本とカードをいれられるバック(おりたたみできてコンパクトになるタイプ)
- ・利用ビデオ・DVD
- ・利用者マイバッグ(有料)、ただし、自治体が有料をOKとすることかどうかは疑問です。(Q4につながる?)
- ・葉、ポスター

Q15.ご意見・ご要望 ++++++

- ・ALAをめざした、日本の図書館もたのしいイメージにしてほしい
- ・JLAの役割に期待。美術系の大学 etc も多々あるかと思うので、全国的に公募(学生対象にして)行ってはどうだろうか。安価なコンペにはなるのでは?
- ・あっと驚く有名人のポスターはぜひ!「ダヴィンチ」と何か連携できないでしょうか。
- ・エコグッズ! 環境にやさしいもの
- ・がんばってほしい
- ・このフォーラムが立見が出るくらいの事前のインパクトへの工夫がされなかったのが残念。数多くあるフォーラム項目の中で注目を集める工夫がされていれば、ますます話題性があり、おもしろかった

- ・これまでもクリアファイルを作成。利用教育参加者におみやげとして配布してきた。バッグなどよいかも。本のカバーなどもよいと思います。ブックカバーもよいかも!(大きさがむずかしいですね)予算も乏しいので、限界を感じますが、工夫したいですね。
- ・その他:10:00に受付がいなくてフォーラムの開始もおそくなり、いい企画なのにおしかった。でも参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・どれくらい普及(とりまれているか)しているのか知りたかった。
- ・ふだん図書館を利用していない人に興味を持ってもらうのはなかなかむずかしいですね。”キャッチ”するのは大変
- ・もっとエコロジーに。ビニールバッグは今の時代にありえない
- ・やっぱり皆様へのアピール力強化です!あとキャッチの力がな

- いので魅力的キャッチコピーです。
- やる気を持ってがんばってください
 - 意識を持って取り組んでいる人がいることに強く共感しました。
 - 会場から一人も質問者がいなかったことで、日本の図書館の現状がわかりました。(つまり、やる気なし 又はやりたいけどハードルが高すぎる。)
 - 学校図書館のような場合はやはり生徒に人気のあるマンガやタレントによる READ のようなシリーズのグッズがあると嬉しい
 - 限られた予算の中でも広報戦略を立案することが非常に大切だと思いました。
 - 公共・大学などで「うけるグッズ」はまったく違うのでは
 - 今日のような講演会など数多く開催してPRに努めて下さい。あまりないような気がします。
 - 作るよりも売ることの方(売り方)が難しそうですね。
 - 私学は有料に対してスムーズな対応が可能だと思いますが、公共図書館の場合はまだすんなり了解が出ないように感じています。そこをくずして行ってほしいです。
 - 時間がもう少しほしかったです。
 - 自館ではむずかしい点も多いのですが皆様の活動を参考にしていきたいです。
 - 自館のみでグッズを作るには予算的に限界がある。やはりこう

- 図書館総合展フォーラム講演会 2007 年度/2007.11.8/埼玉福祉会
- いった上で(日図協など)開発普及をしてくれると、実際使ってみようという気になると思います。頑張ってください。
- 自分たちが現場で作ってみたいときに自由に使えるフリー素材や著作権をクリアしたマンガ家の有料素材があればいい。日本は広告の先進国なのだから visual だけでなくことばにもっとひねりがほしい。(イトイやカワサキみたいに)
 - 新たな企画や試みに期待しております。大変興味深い講演でした。
 - 進め方次第で大きなマーケットになる可能性あり。期待大である。
 - 図書館界から外へ広がること、図書館界の外の目、ということが大切ではないかと思います。
 - 着目するところがいいと思います。どこでもお金がからんでくるので小さな図書館でもとり入れられるものもおねがいします。・・・しおりなら自分で作れますしね。私も作ろうと思います。
 - 本市ではホームページのバナー広告や紙芝居袋に企業の広告を入れることにより収入をえているので自前の予算でPRグッズを作るというのは気持ちはあるが本局を説得するのはむずかしいとおもった。(消火器1本かうのに苦労している現実がある)でも元気をもらいました。

以上(集計 2007.11.28/報告書作成 2009.12.29) ■